

会 議 録

会 議 名	令和元年度第2回三芳町まち ひと しごと創生総合戦略審議会
開 催 日 時	令和元年2月12日(水) 15時00分開会 17時10分閉会
開 催 場 所	三芳町役場 5階 501会議室
主宰者氏名	政策推進室
出席者	朝倉はるみ委員、鈴木浩委員、田村五九男委員、仲田政司委員、寺井賢氏(米本委員代理)、坂口大志委員、山崎百恵委員
欠席者	遠藤日出夫委員
事務局職員	政策推進室 主幹 富田篤 主任 丸野寿子
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p style="margin-left: 20px;">①国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」</p> <p style="margin-left: 20px;">②三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)</p> <p style="margin-left: 20px;">③三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 答申(案)</p> <p style="margin-left: 20px;">④その他</p> <p>4 閉 会</p>
会議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・三芳町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について、一部修正と修正の検討を行う。 ・答申(案)については、大きな修正があれば会議3日前までに事務局に連絡することとなった。 ・次回の会議は、3月18日午後2時から開催することとなった。
配布資料：添付のとおり	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果

	<p>開 会</p> <p>あいさつ 会長より挨拶</p> <p>協議事項</p> <p>①国のまち・ひと・しごと創生総合戦略及び②三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について事務局に説明を求めた。</p> <p>配布資料に基づき事務局より説明</p> <p>（質疑）</p>
会長	順に見ていく。1～4ページ目について質問や意見を求める。まず、2ページ目に誤植。令和6年度は2024年。
事務局	修正させていただく。
委員	推計人口の出し方の差異はあるのか。
事務局	2014年の推計値は人口ビジョンにあるもの。策定当時、2014年までの人口の動きを元に計算している。2019年は、昨年までの動きから推計値を出している。
委員	合計特殊出生率1.78を目指すとはあるが、三芳町の数値は。
事務局	平成27年から30年にかけての平均が1.19程度。ただ、毎年の数値の差が大きい。これは母体となる数値が小さいことが要因と考えられる。
会長	5～8ページについて意見をいただきたい。 企業の留置とあるが、出ていく企業があるということか。こういった企業にそういった傾向があるのか。
事務局	あまり多くはないが、大きめの企業の移転がある。現在、スマートICのフル化に向け「みどり産業共生ゾーン」などをつくり、企業誘致をし、何社かが来ることは決まっている。
委員	所沢市の委員もやっているのだが、所沢市も誘致に力を入れている。関西の方の企業に目を向け、県などと協力しながら展示会などにも出てやっている

	<p>ようだ。関西の人には所沢の位置とかわからないので、そういったところでPRをしている。</p>
委員	<p>みどり産業共生ゾーンは、安定した雇用、稼ぐ地域ということだが、三芳町には倉庫が多い。倉庫よりもメーカーの方が雇用には結び付くと考えられるが、メーカーで興味を示すような動きはあるのか。</p>
事務局	<p>メーカーに絞って誘致ということはしていない。相談があったところから、という形になっている。</p>
委員	<p>都市計画審議会にいた際に聞いたのだが、あの地域は水道の管が小さい。そのため、水の問題があり、なかなかメーカーを誘致するのが難しい環境となっていることから倉庫系を誘致していると聞いた。倉庫はIT化が進んでいるので雇用が難しくなってくる面はあるかもしれない。所沢も頑張っているので、三芳との誘致合戦になるかもしれない。東所沢にはKADOKAWAもできる。相当人が集まるのではないかとされている。便利なところ、仕事があるところに人は集まる。それを分散させるには、相当の特徴が必要。</p>
委員	<p>三芳町の立地はいいが、調整区域が多い。見直しは考えていないのか。</p>
事務局	<p>町としては農業についても大切に考えている。農業をやっていらっしゃる方がいる限りは減らすということは考えていない。</p>
委員	<p>お客さんから工場を作りたいという声がある。併せて社員寮も近くに作りたいというのだが、そういったところを緩和できると企業や人を増やせると思うが。</p>
委員	<p>その部分のせめぎ合いは難しいところ。</p>
委員	<p>工場だけでなく、社員寮などをセットで誘致する。そういった周辺条件ということについても考えた方がいい。</p>
委員	<p>町に空き家も増えていると思うが、そういったものを社宅として利活用することを考えてはどうか。</p>
事務局	<p>今、町として空き家調査を始めているところ。持ち主側の抵抗感や税金の問題があるので、そういった部分の整理が必要な状況にある。</p>
委員	<p>人口が増えるには、住宅地が必要。どのように人口を増やすのか。</p>
事務局	<p>人口を増やすというわけではない。維持、緩やかに、という部分。</p>

委員	働く人にとって、職場が近くにある方がいいと思う。
委員	空き家の活用は難しい部分もあるが、やっていく必要がある。
委員	藤久保の辺りは生活インフラが整っている。鶴瀬駅前よりも住むにはいい環境かもしれない。人が住みやすいエリア、働くエリア、農業を活用できるエリアというのを調整できる町になっていると思う。めりはりの効いた地域にできるのでは。
委員	保育サービスが余るほどあれば、住宅地に住む人も働きに行く人も農家でも仕事ができる。申込さえできればすぐに入れる施設が充実すれば、余裕もできるし、出生率も上がっていくのではないか。安心して預けることができる場所。
事務局	子育て施設を行政・公共で整備してというのは難しくなっている。民間と連携しながらやっていければいいと思う。こども支援課でも施策は進めている。
委員	女性職員から病児保育があると助かると聞いた。三芳町に病児保育をやっているところは何か所あるか。子育てのための充実した施設があると、「子育てするなら三芳町」になる。
事務局	町外の針ヶ谷保育園、ひまわり保育園と連携している形になる。
委員	近くに親戚がいればいいが、いない家は仕事を休まなくてはいけなくなる。
委員	女性が働き続けるためには、小学校低学年くらいになるまでの居場所などが必要。8ページの一番最後にもあるが、民間企業だけではなく、行政が支援できれば女性が長く安心して働ける環境も作っていける。高齢者にも働くチャンスになる。子どもを軸にいろんな政策が絡んでいくようにできるといい。
事務局	ファミリーサポートセンターという制度もあり、軽度の病気であれば預かってくれる。
委員	ファミリーサポートセンターの認知度が低いというのはあると思う。認知度を上げていくとよい。
会長	では、9ページにいく。何か質問、ご意見は。

委員	関係人口ということだが、これを広報する、行動につなげることは考えているか。NHKなどで流されると全国区になって話題になる。
事務局	イベント等については、マスコミに流し、取材していただくというかたち。J-COMさんにもお世話になっているところ。
委員	三芳町という名前が流れると良い。
委員	観光関係の人口ということだが、企業誘致、労働力の確保という視点をもち、観光に限らず、企業を含めた企業紹介等を行いながらやっていってもいいのではないか。より三芳町に関わりのある人をつくる。一般の方用に見せられなくても、特別な職場の公開日などを設けると、興味のある人は来る。社会科見学のような形で、いろいろな人に知ってもらえるといい。就職のための職場見学にもなる。
委員	三芳町は行政主導でイベントなどをやっているが、本当は農家が自らやっているようなイベントをバックアップすることが望ましい。例えば、直売所を作るための低利の融資だとか、千葉県で農家バンガローを個人でやっているが、そういったことに対して力を入れていかないと続かない。行政がやっても、突発的で終わってしまう。
事務局	町主催のイベントはあってもいいが、民間の取組は重要だと考えている。
委員	三芳町は農地が多いと思うが、後継者は減っているのか。
委員	他の市と比べれば、後継者は多い。ただ、必ずどこの家にも後継者がいるというわけではない。
委員	他の土地では、家付きで家族で農業に、というところもある。三芳町は都心から近く、来やすい場所にある。簡単に、というわけではないだろうがそういう意味でも、人を呼び込みやすいかと思った。
委員	三芳町は倉庫や駐車場で副収入を得ている農家が多い。なので、後継者がいるという面はある。農家一本だと、難しい面があるかもしれない。大規模にやろうにも、田んぼと違って畑なので、機械化がしづらく人力が必要。
委員	都市型農業としての立地はとて面白いと思う。農業が儲かる、と今やっているひとに言っていたのがいいだろうと感じる。町の中で高齢化率が高い地域などはあるか。
事務局	団地があるみよし台地区などか。

委員	農家は3世代で住んでいたりするので、意外と高齢化率は低いかもしれない。
委員	KPIにおいて「新しい人の流れを作る」に対し、住民の愛着度がある。この狙いは何か。
事務局	住民が町に愛着をもって、住民自らが発信していくという意図。町だけがやるということではなく、という鈴木委員がお話してくださったものと同様のもの。ただ、少し精査が必要かもしれない。検討する。
会長	住民がどれだけ発信をしようと努力しているかや、町が町外を意識したイベントをやっているかというKPIができた方がいいかもしれない。 では、10・11ページに移る。先ほどご意見のあった子どもの施設についてはここに盛り込んでいただきたい。その他ご質問ご意見あれば。
委員	この地域で子どもを育てたいという思いをもってもらうために、公園のある住環境は大切だと日々感じている。
事務局	具体的に公園ということは示していないが、公共施設の整備等が包括的に示しており、推進していきたいと考えている。
委員	役場の前の公園を整備するという話は聞いたが、子育てをする公園のイメージとはかけ離れていると感じる。
委員	公園の作り方も、従来通りに作ってはいけないのかもしれない。
委員	前回は話に出たが、あれをしてはダメ、これをしてはダメな公園でなく、区分けしてできることを示している公園ができてきているということを報道で見た。
事務局	他の自治体による公園の活用事例はいろいろとある。そういったところを研究し、考えていかなければならないと感じる。新しい公園を、というのは難しい部分はあるが、今ある公園の活用方法等は考えていかなければならない。
委員	ここまで来なくても住宅に近い公園が使いやすい。
会長	三芳町をいくつかゾーニングしたうえで、いろんなところから10分以内に行ける公園があるというイメージ。そんなに大きなくていいので、緑があってゆっくりできる場所があるといいのかもしれない。大学にも緑はある

	のだが、その場にいられる空間がない。日本で芝生、というのは難しいところもあるのかもしれないが、シンプルがゆえにいろんな使い方ができる。
委員	手入れを住民に任せるような取組もある。自分事の公園ができるのでいいのではないか。北永井3区にそういった公園がある。地主さんと交渉して、1人でやっているところもある。役場が道具だけは提供するとかすると、やってもいいよ、という、生きがいとしてやってくれる方もいるのではないか。県のロードサポートも同じやり方。
委員	年間の婚姻の届け出数があるが、外から来た人はどれくらいか。
事務局	すぐにはお出しできない。
委員	外から入ってきた人は、環境が整っているから三芳に来たと考えているかもしれない。そういうのもあるといいかと思った。
委員	行政がお見合いさせるわけにもいかないし、難しいところ。
事務局	以前、実施したことがある。ただ、続けていると参加者が減ってくる。今後は、お見合いイベントというよりは、各種イベントの後に交流会を設定するとか、イベント自体が交流につながるとかをしていければと考えている。
委員	学校図書についての記述があるが、突然どうして出てきたのか。
事務局	「読み愛読書のまち」を標榜している。これは、県内で1人当たりの貸出冊数が1位というところから。乳幼児に絵本のプレゼントをするなどして、読書に親しんでもらえるような環境づくりも行っているところ。
委員	学校図書館とあるが、三芳はここが弱いのか。学校ごとに司書も配置していると思ったが。
事務局	強み、特徴として記載した。
委員	KPIに「1日当たり全く読書をしない」とあるのは、あまりにもネガティブな目標だと思うが。
事務局	事務局でもそう考えたが、元々の計画と同様の表記とした。
委員	後ろ向きに感じてしまうので、注釈をつけるなどして「読書をする」という表現にした方がいい。

事務局	承知した。
会長	では、12・13 ページに行く。この「歩きたくなるまちなかづくり」というのは、観光ではよく使うのだが、ここにあるのは違和感を覚える。安心安全な、という表現に変えた方がいい。
事務局	公共空間の有効活用、空き家などを通じた活性化、また、町の主要な公共交通はバスになるがそういったものだけでなく、少し歩いてみようかという気持ちをもってもらうという意味合い。
委員	空き家は町なかにも出てきている。三芳町に出た町中の空き家では、今フードバンクをやっている。使いようによっては活性化の起点になると思う。これは売りものにならないから要らないというものを再分配する拠点にしようとしている。
委員	次にある、横断的な目標達成にも寄与する活動だと感じる。
委員	芝生の話に戻るが、外国だと犬のフンで育った芝生だと言うと、みんな笑う。日本だと目くじらをたてる。国民性の違いだが、全てに通じることのような気がする。
事務局	まちなかづくりという表現が変ということか。
委員	歩きたくなるという点。生活をするのには安全安心。きれいな道があるから歩こうとはならないのでは。
事務局	観光というイメージではあまりなく、普段の日常生活の中でそういったことを感じられる場所を作り、歩いて行ってみようと思うようなまちづくりを行っていくということが趣旨。もちろん、歩道等の整備も含むが。
委員	多様な地域拠点という項目があるので、そういった拠点に歩いて行くというような表記がいいのでは。
事務局	検討する。
委員	KPIの2つ目「健康だと思う人」については、「健康診断を受けた人」がいいのでは。
事務局	介護保険計画の指標からとっているもの。検診の受診率よりも先の指標をとらないといけないという担当課の話があった気もするので、ここについては確認する。

会長	<p>続いて、14・15 ページ。ご意見ご質問はあるか。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの部分に高齢者についても入れておいた方がいい。</p>
事務局	<p>入れる場所については検討するが、盛り込む方向で調整する。</p>
委員	<p>15 ページの KPI に大人の視点として「外国人従業員数」などがあってもいいかもしれない。オリンピック絡みで町にオランダ人職員を雇うなどということはないか。</p>
事務局	<p>他の自治体では聞くが、三芳町では予定していない。</p>
会長	<p>子どもは強制的に学校で触れられると思うが、大人はなかなか難しい。大学にも来ていると聞いたが、ゼミ生に柔道部の子もおらず、学校にそういった PR するようなものも飾られていないのでなかなか知る機会がない。</p> <p>次に行く。16・17 ページにおいての質問・ご意見をお願いします。</p> <p>SDGs の認知度調査は国がやっているものだったか。</p>
事務局	<p>民間がやっていると認識している。町では実施していない。</p>
委員	<p>企業が取り組むのもそうだが、住民の方が知っていて、自分の取組が結び付くということが望ましい。17 のゴールすべてをやるというのではなく、特に注力するというのもひとつのやり方だと思う。自治体の中で絞るというのは難しいとは思うが。</p>
委員	<p>政策を行う際に、常にこれを絡めて浸透させていくというのがいい。</p>
事務局	<p>来年度から第 5 次総合計画の後期基本計画期間となるのだが、見直しの際に、全てのゴール、ターゲットとの紐づけを行った。町がやっていることは、全て SDGs につながることであったので、住民にも体系的に見せ、これらに繋がっていくことなのだ意識してもらえるように取り組んでいきたいと考えている。</p>
会長	<p>17 ページの最後にある「高齢者の情報弱者のリテラシー」とあるが、子どもも同様だと考える。ここは、「あらゆる年代の」とした方がいいのではないか。</p> <p>では、資料編についてもご確認いただきたい。第 1 期 KPI の達成状況はどのようになっていたか。</p>
事務局	<p>上手く進められた部分もあればそうでない部分もあるような状況。</p>

委員	目標を達成したものに○をつけるような形で表記していただきたい。 他に、これも入れておいた方がいい等あれば。
委員	できるだけ日本語にして書いてほしい。
委員	レガシーが遺産、だけではちょっと。
委員	もう少し丁寧に記載するようにしていただきたい。 -----
	③三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 答申（案）について事務局に説明を求めた。
会長	時間の関係上、修正が必要な個所等は事務局に連絡をしていただくようにしたい。いつまでなら受け付けられるか。
事務局	大きな変更については、会議の3日前までにいただきたい。 -----
	④その他 第3回審議会／答申を【3月18日（水）14時～】に決定。 -----
	職務代理 挨拶
	閉 会